

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	591	環境セミナー開催事業	会計	01	一般会計
基本施策	17	自然を守り、未来へと引き継ぐ	款	04	衛生費
			項	01	保健衛生費
			目	04	環境対策費
担当部課名	生活環境部環境政策課		細目	101	環境保全対策事業
作成者氏名	松本直明	連絡先	細々目	3	環境セミナー開催事業
		22-9637			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	市民・児童・生徒	事業を行うことにより環境問題を身近に感じ、広く市民に自然の大切さなどの啓発が図れる。			
本年度事業内容	1 環境セミナーの開催 2 夏休み環境保全啓発作品募集、発表 環境問題を身近に感じ、広く市民に環境保全に対する関心を持ってもらうため、セミナーの開催や児童・生徒を対象とした夏休み 環境保全啓発作品募集事業を行い、環境問題に関心のない児童・生徒を含む市民に環境の大切さを気付いてもらう。				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
支出内訳 (千円)	事業費(B)	280	396	400
	需用費	235	331	333
	その他	45	65	67
合計(A+B)		3,880	3,996	4,000
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	280	300	300
一般財源		3,600	3,696	3,700
上記 ~	に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
環境セミナーの開催	回	3	4	4			
環境保全啓発作品募集事業	回	1	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
環境セミナーの開催回数	市が市民に環境問題の情報や循環型社会への取り組みへの機会の場をどのくらい提供できるのか	回	3 目標 (3)	4	4
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

環境セミナーについては、一人ひとりのやる気に直接結びつくような情報の提供、体験の機会を提供することが大切です。また、各支所には、様々に活用できる場があり、有効活用を図り市民の多くの参加に結び付けていきたい。

評価	必要性	4	環境保全啓発や環境教育は、即効性ですぐに効果が現れることはありません。しかし、継続して実施することにより関心が高まってきます。そうしたことから引き続き実施する考えです。	総合評価  <b>A</b>
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		